

# 羽曳野市立誉田中学校 平成28年度

## 全国学力・学習状況調査の結果について

調査要領に記載されていますとおり、本調査結果は、本校生徒の学力や学習状況を一定把握するものです。学校の教育活動の一側面として、今後とも子どもたちの学力、学習意欲の向上に努めてまいりますので、ご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

(平成28年4月・3年生にて実施)

### 【1】学力状況（教科・区分別の平均正答数）

※区分・・・A 主として知識など基礎的な問題

B 主として基礎的な知識を活用する問題

※平均正答数・・・調査を受けた生徒が正答した問題数の平均

教科	国 語		数 学	
	A 問題	B 問題	A 問題	B 問題
本 校	23.2	5.3	19.8	5.4
大阪府	24.3	5.7	22.2	6.5
全 国	25.0	6.0	22.4	6.6

単位：問

### 【2】結果分析

#### 【国語】

成 果 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読むこと」「知識・理解・技能」に関する関心は比較的高く、授業でも積極的に取り組んでいるが、「書くこと」に関しては、全般的に苦手意識が強い。特に、問題文に書かれている主題や要点を自分の言葉でまとめるという趣旨の問題に弱い。実際に自らが体験したことをもとに、感想や意見を書く機会はあるが、他人の文章を読み、自分なりに意見をまとめる機会は少ないからだと考える。</li> <li>○自分の言葉を用いて解答するには、幅広い語彙力が必要である。新聞の社説や意見文など、物語だけでなく、様々な文章に触れる機会を増やす必要がある。</li> <li>○古典や文法に関する問題に関しては、基礎的なルールを曖昧に覚えている生徒も多いため、正答率が二極化している。</li> </ul>
改 善 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○单元ごとに感想や考えをノートやプリントに書かせる機会を増やす、そしてそれを「書くこと」に関する評価項目として扱う。</li> <li>○単に文章を書くというのではなく、制約上一定の条件をつけた文章を書かせる機会を増やしていく。</li> <li>○発問では答えだけを発表させるのではなく、なぜそのように考えたのかという理由を発表させるようにする。また、定期テストでも同様に、答えに至った理由を簡潔に書かせる問題を入れる。</li> </ul>

## 【数学】

成果と課題	<p>○単純な計算問題や小問については1年から3年のどの範囲でも比較的正答率が高いと思われる。これは毎時間の授業で計算プリントや授業に関するプリントを使って反復練習をさせている成果だと思われる。</p> <p>○簡単な文章題なのに文章が長くなり説明が長くなると、その内容が理解できずに手をつけられない生徒が多い。授業の中ではあまり多く長文問題を説明することができないのでプリント練習をさせているがそれに手をつけようとしなない生徒をどのように指導するかが今後の課題である。</p>
改善方針	<p>○授業で求め方や考え方をきっちり理解させてそれを使えるように指導するように心がけると共に練習量を増やし、苦手な分数なども積極的に計算させるようにする。</p> <p>○定期テストや実力テストに文章をじっくり読んで取り組むタイプの問題を多く取り入れ、内容をイメージする力をつける。</p>

### 【3】生徒アンケート結果（大阪府・全国は今年度の数値）

#### 生活習慣

朝食を毎日食べる生徒の割合が増えました。同時に、同じぐらいの時間に就寝・起床する生徒の割合も増えているので、朝食と就寝・起床とは深い関係があるのでは・・・睡眠時間も問題ですが、ほぼ決まった時間に就寝・起床が大切ですね。

一方で、依然としてスマートフォンの利用時間は、改善されておらず、家庭学習時間や学習意欲に、影響しているのではないかと心配されます。

#### ○朝食を毎日食べている

本校	(H26) 75.7%	(H27) 77.0%	(今年度) 80.7%
大阪府	79.2%		
全国	83.3%		

#### ○毎日、同じぐらいの時刻に起きている

本校	(H26) 43.9%	(H27) 45.5%	(今年度) 57.4%
大阪府	54.2%		
全国	55.9%		

#### ○毎日、同じぐらいの時刻に寝ている

本校	(H26) 22.5%	(H27) 26.4%	(今年度) 28.4%
大阪府	30.3%		
全国	30.8%		

○1日2時間以上、携帯電話やスマートフォンでメールや通話をする（ゲームは除く）

本 校	(H26) 48.5% (H27) 46.1% (今年度) 46.0%
大阪府	37.2%
全 国	30.1%

### 学 習 情 況 (家庭学習)

家庭学習習慣の未定着は本校の課題です。今年度の生徒はそれが顕著に現れています。学校で習った基礎・基本的な知識や技能が、家で復習したりしないので、定着しないのです。それは、「家で宿題をしていない」・「家庭での学習時間が0～30分未満」の生徒が多いことから明らかです。学校としては、引き続き、宿題の量、学習ノートの書き方指導や宿題ノートや自由学習ノートなどの活用・工夫が求められます。しかし、自分で計画を立てて勉強をしていると答えている生徒の割合は府・全国平均を上回っており、家庭学習をする生徒としない生徒の差が広がっていると考えられます。

○学校の授業時間以外、普段1日どれくらい勉強しますか・・・0～30分未満

本 校	(H26) 16.2% (H27) 23.1% (今年度) 31.8%
大阪府	20.8%
全 国	14.4%

○家で、学校の宿題をしていますか・・・あまりしていない・全くしていない

本 校	(H26) 16.8 (H27) 17.4% (今年度) 17.6%
大阪府	13.3%
全 国	9.8%

○家で、自分で計画を立てて勉強している

本 校	(H26) 17.9% (H27) 26.4% (今年度) 18.2%
大阪府	16.4%
全 国	16.0%

### 授 業 内 容 (指導の工夫・改善)

学習活動とは、覚えるだけでなく、考える・判断する・表現する（ことば・文章・数字などに表す）力を付けることです。学校全体でその目標に沿った授業をしようと、どの教科も意識して取り組んできました。アンケート結果より、その成果が少しずつ出てきたのではないかと思います。また、授業の最初と最後に、この授業で学習すること（ねらい）、学習したことの振り返りを行うようにしています。それを意識する生徒も増えてきたので、継続して取り組んでいきます。

授業は、生徒と教師お互いの気持ち、言葉のやり取り、そして何より信頼関係が大切です。アンケートの結果を見ると、生徒と教師との関係は良好なようです。学校生活全般での関係づくりが大切ですが、教職員は、わかる授業を行い、生徒個々の状況に応じて対応できる指導力を付ける努力を忘れないことです。

○1・2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた

本 校	(H26) 22.0% (H27) 40.4% (今年度) 35.2%
大阪府	36.8%
全 国	43.5%

○1・2年生のときに受けた授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていた

本 校	(H26) 22.0% (H27) 21.9% (今年度) 33.0%
大阪府	29.3%
全 国	34.9%

○1・2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて）を示されていた

本 校	(H26) 18.5% (H27) 21.9% (今年度) 39.2%
大阪府	38.5%
全 国	47.6%

○1・2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていた。

本 校	(H26) 10.4% (H27) 11.2% (今年度) 24.4%
大阪府	19.8%
全 国	23.3%

○授業の中で分からないことがあったら、先生に聞く

本 校	(H26) 31.5% (H27) 35.8% (今年度) 33.0%
大阪府	24.9%
全 国	19.6%

○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところを分かるまで教えてくれる

本 校	(H26) 未実施 (H27) 未実施 (今年度) 37.5%
大阪府	27.1%
全 国	28.2%

○先生は、あなたのよいところを認めてくれる

本 校	(H26) 26.6% (H27) 未実施 (今年度) 44.9%
大阪府	30.2%
全 国	32.2%

### 教育活動の成果と保護者の協力

本校では、学級活動を基礎として、学年・学校行事をはじめ、教育活動全体をとおして、「集団づくり」を目的の第一として取り組んでいます。仲間と共に何かを作ったり、同じ経験を通じて、達成感・自信・他人への思いやりを獲得し、社会を生きるたくましさを身につけていくのだと思います。アンケートより概ねこれまでの成果が出ていると考えられます。保護者の方々は、仕事等、忙しい中においても、学校の教育活動に対してご協力いただいております。引き続き、学校と家庭が、「子どものために」つながり、それぞれの役割を果していきたいと思っております。

○学校に行くのは楽しい

本 校	(H26) 52.0% (H27) 47.8% (今年度) 56.8%
大阪府	50.8%
全 国	56.0%

○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある

本 校	(H26) 65.9% (H27) 63.5% (今年度) 64.2%
大阪府	52.7%
全 国	57.9%

○いしめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

本 校	(H26) 73.4% (H27) 77.0% (今年度) 76.7%
大阪府	73.6%
全 国	74.8%

○将来の夢や、目標をもっている

本 校	(H26) 45.7% (H27) 48.9% (今年度) 51.1%
大阪府	45.1%
全 国	45.1%

○自分には、よいところがあると思う

本 校	(H26) 22.5% (H27) 33.7% (今年度) 30.1%
大阪府	25.0%
全 国	27.4%

○人の役に立つ人間になりたいと思う

本 校	(H26) 74.6% (H27) 75.8% (今年度) 70.5%
大阪府	67.8%
全 国	69.3%

○家の人と学校の出来事について話す

本 校	(H26) 44.3% (H27) 42.7% (今年度) 42.2%
大阪府	40.6%
全 国	41.9%